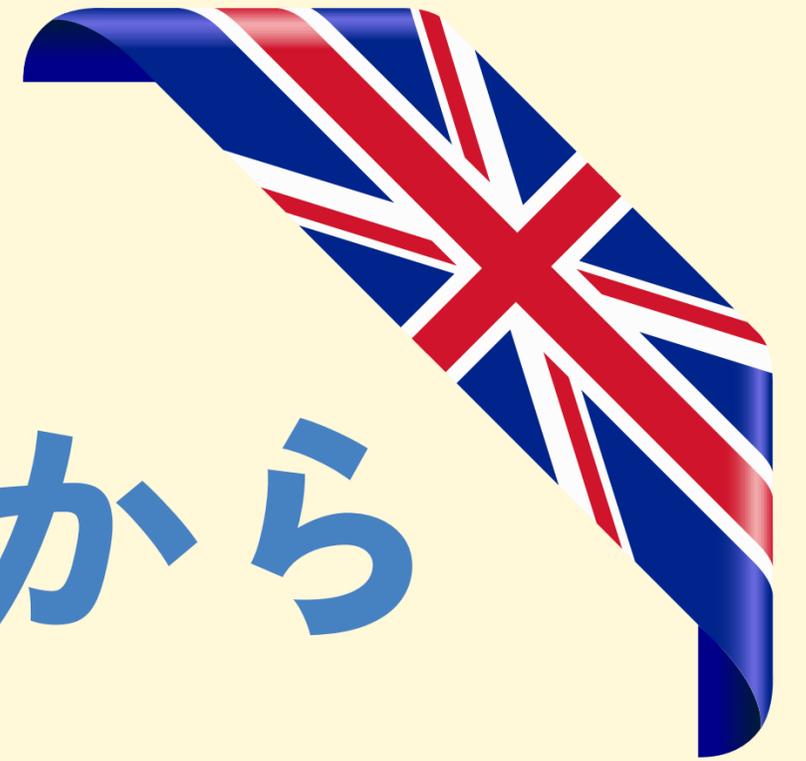


# 社会福祉の歴史 1



## エリザベス救貧法から 新救貧法まで

はじめに

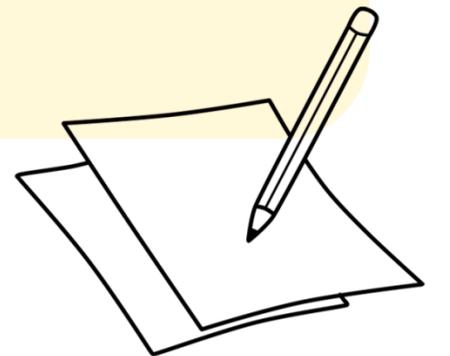
Q：なぜ歴史を学ぶの？

WHY？

自分なりに考えてみよう！

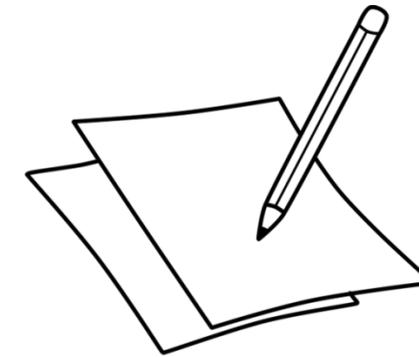


ワークシートにぜひアウトプット！



## はじめに

Q：なぜ歴史を学ぶの？



- ゼロイチ（0→1）に本質あり
- 価値観や知見を広げる
- 同じ過ちを繰り返さないために



はじめに

---

## 私のきっかけ：数学にも歴史あり

「1冊の本をまとめなさい」大学の授業

- 10進数の世界（指が10本だから）
- 数秘術（政治）
- ピタゴラス学派の崩壊（整数から有理数）
- ゼロの概念（空）

はじめに

「歴史の目」を開眼する



その人のヒストリーに入り込む

SUPPORT

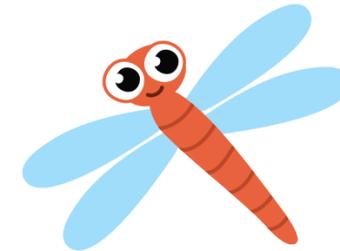
虫の目



鳥の目



トンボの目



魚の目



コウモリの目



はじめに

自分なりの職業観を養おう！

<目次>

- エリザベス救貧法
- ギルバート法とスピーナムランド制度
- 新救貧法



# エリザベス救貧法

15世紀末～17世紀

## エングロージャー

～羊が人を喰う～



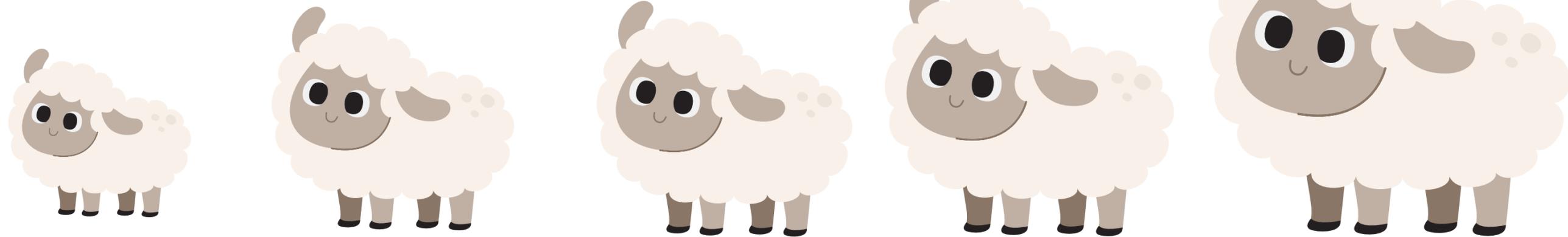
羊毛需要の増加  
共同利用地や農民の耕地を  
無理やり囲い込み牧草地へ



# エリザベス救貧法

15世紀末～17世紀

## エンクロージャー



多くの農民が土地を失う

都市へ行き浮浪者化

スラム街は都市部に起きる

## エリザベス救貧法

ロンドンの人口3倍

～仕事と救済を求めて～



<社会での対策が必要になる>

貧困や浮浪といった様々な課題を社会  
で対策しようとした



近代社会福祉制度のはじまり

# エリザベス救貧法

ロンドンの人口3倍  
～仕事と救済を求めて～

札幌



**EXAMPLE**

# エリザベス救貧法

---

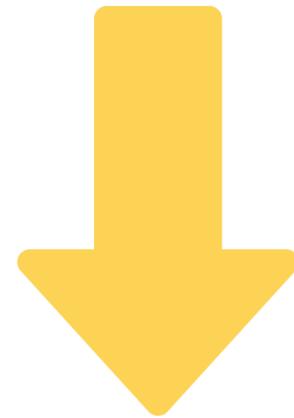
## エリザベス救貧法 1601年

### <労働能力による分類>

- 労働能力のない者：救貧院による保護
- 労働能力のある者：ワークハウス(労働)
- 貧民児童：徒弟に出す(職業親方)
- 救貧税の徴収 (教区ごと)

# エリザベス救貧法

労働能力のない者：救貧院による保護

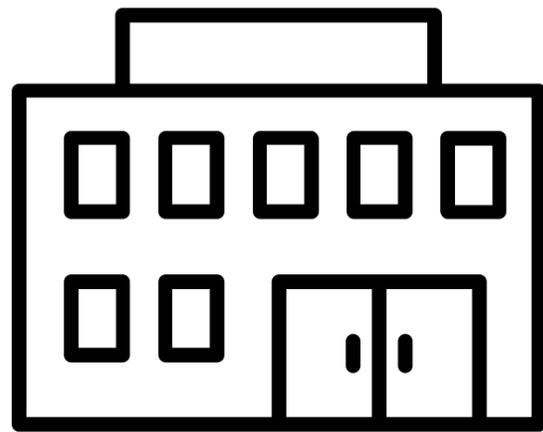


**EXAMPLE**

現代で例えると

社会福祉施設のサービス

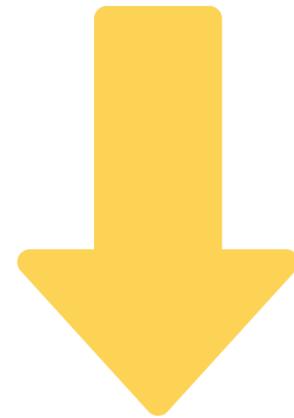
老人ホーム・救護施設  
障害者支援施設など



# エリザベス救貧法

---

労働能力のある者：ワークハウスで労働



**EXAMPLE**

現代で例えると

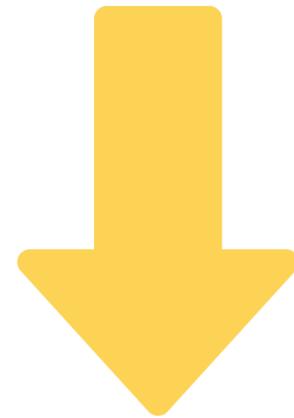


就労支援施設のサービス

就労継続支援B型など

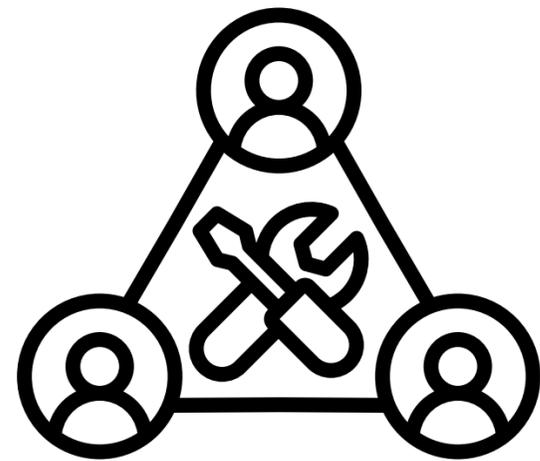
# エリザベス救貧法

貧民児童：徒弟（職業親方）



**EXAMPLE**

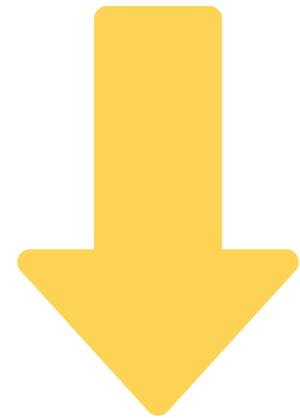
現代で例えると



職業訓練校・就労体験  
インターンシップ

# エリザベス救貧法

## 救貧税：教区ごとに徴収



**EXAMPLE**

現代で例えると



様々な税金

所得税・消費税・介護保険料

など

# エリザベス救貧法

エンクロージャー（羊が人を食う）



農民が追い出され浮浪人へ（ロンドンへ）



社会全体での対策が求められる



エリザベス救貧法（近代社会福祉制度のはじまり）



はじめに

自分なりの職業観を養おう！



<目次>

- エリザベス救貧法
- ギルバート法とスピーナムランド制度
- 新救貧法



# ギルバート法とスピーナムランド制度

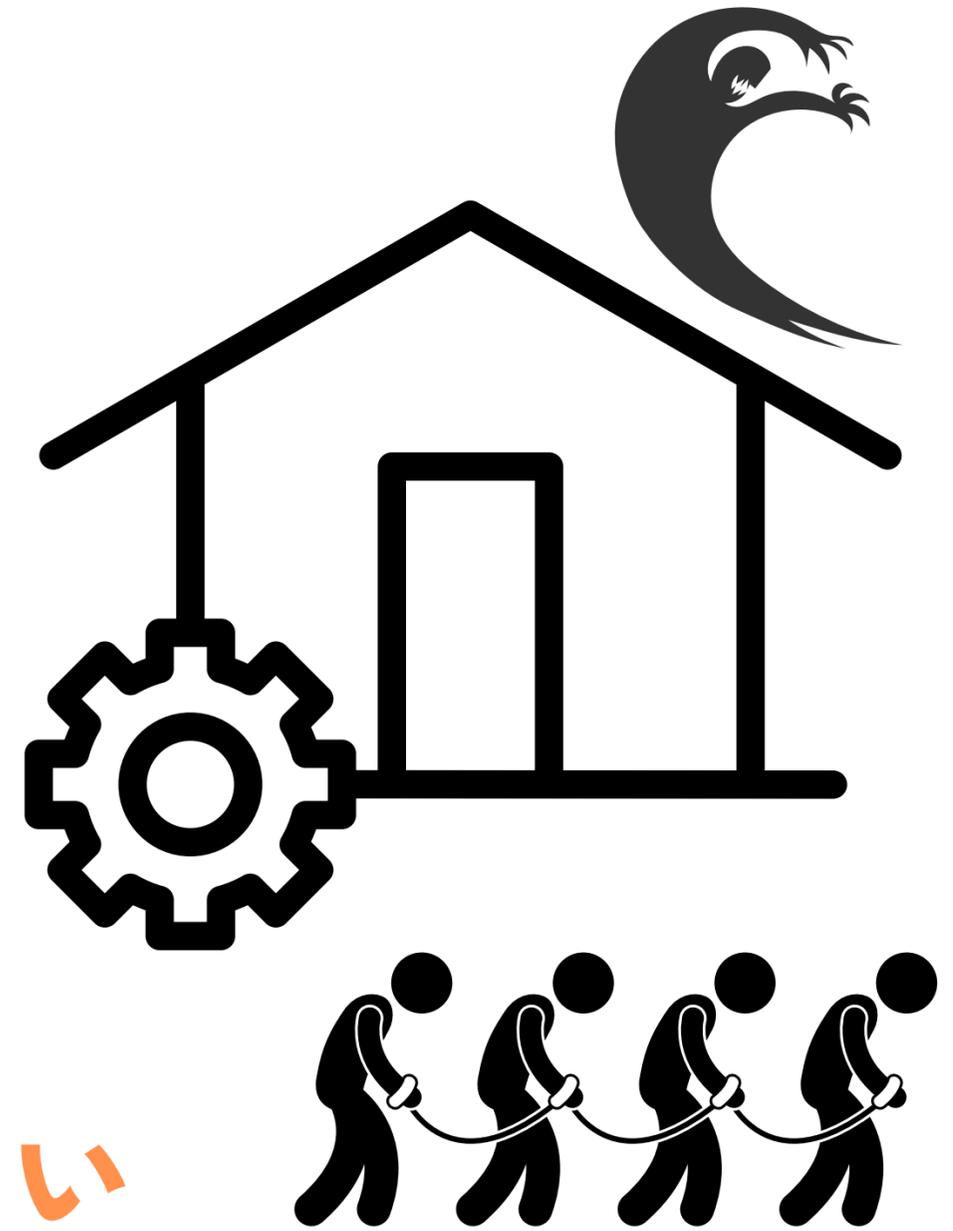
## エリザベス救貧法の課題

非人道的になっていく

ワークハウス＝恐怖の家



救済が必要でも**恐怖**で受けられない  
行政にとっても**安上がり**で都合がよかった

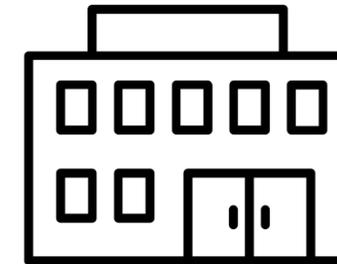


# ギルバート法とスピーナムランド制度

## ギルバート法（1782年）

貧困者のよりよい救済と雇用に関する法律

ワークハウス 「院内救済」



施設



「院外救済」による貧困救済



地域

# ギルバート法とスピーナムランド制度

## ギルバート法（1782年）

労働可能な者は就労の有無で区別

低賃金の者には救貧税による補助

職のない者には雇用の斡旋

行政の合理化を提唱（傲慢な業務の打破）



# ギルバート法とスピーナムランド制度

## ギルバート法（1782年）

低賃金の者には救貧税による補助



## スピーナムランド制度

（院外救済による賃金補助制度）

# ギルバート法とスピーナムランド制度

## スピーナムランド制度



### Bread Scale

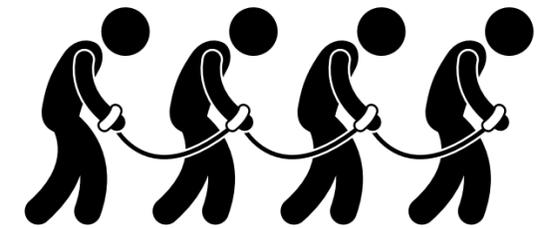
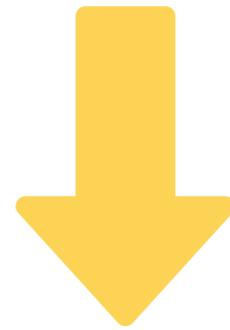
パンの価格と家族数に応じて算定

対象：職のない者、低所得労働者

財源：救貧税より支給

# ギルバート法とスピーナムランド制度

ワークハウス（労役所） 非人道的・院内救済



ギルバート法・スピーナムランド制度

人道的・院外救済

就労の有無・救貧税による補助・雇用の斡旋



人間愛を基本とした救済

はじめに

# 自分なりの職業観を養おう！



## <目次>

- エリザベス救貧法 非人道的・院内救済
- ギルバート法とスピーナムランド制度
- 新救貧法



人道的・院外救済



# 新救貧法

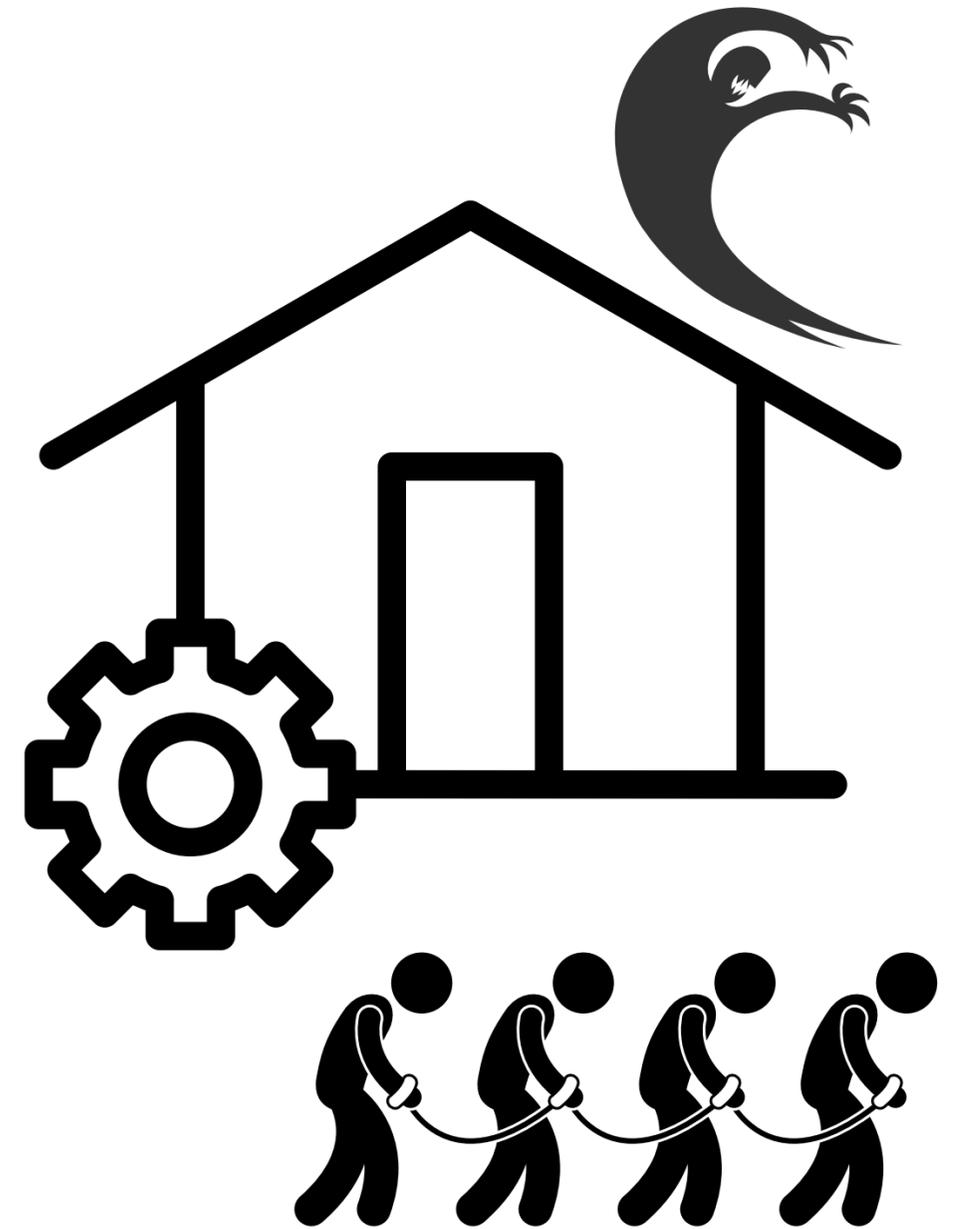
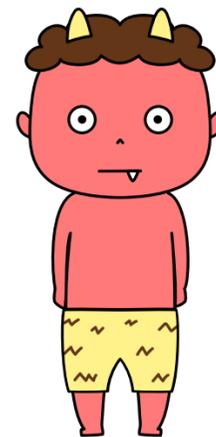
## 資本家有利の法律へ

非人道的になっていく

ワークハウス＝恐怖の家

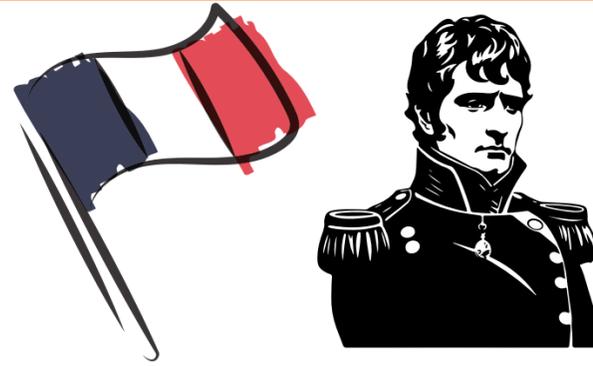


復活

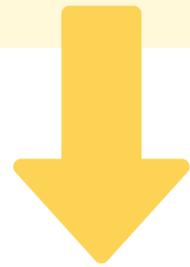


# 新救貧法

ナポレオン戦争  
1800年前後

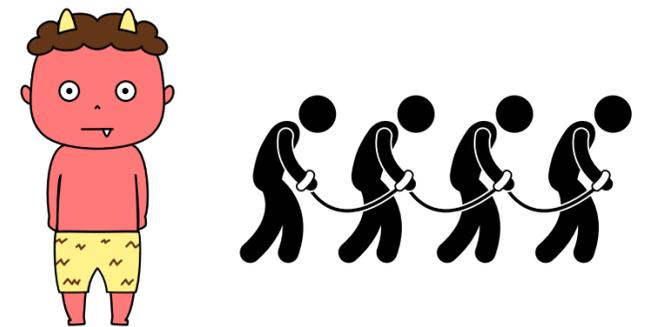


イギリス経済が低迷する



資本家中心とした「怠惰」の考え方による貧困対策

労働者の意欲減退は貧困支援が原因！



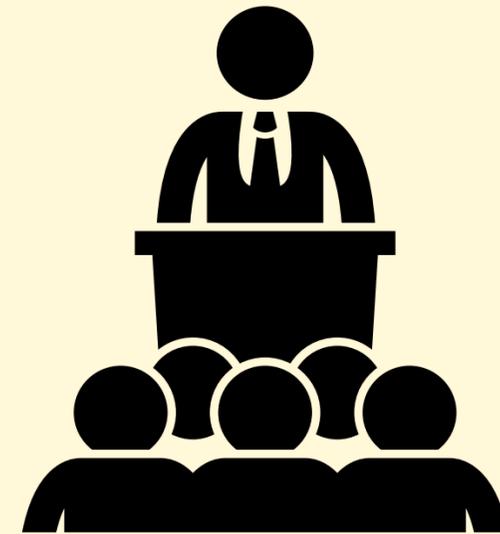
# 新救貧法

## 新救貧法（1834年）

### ① 全国統一の原則

地方主義 → 中央統制へ

救貧税：教区ごとから 全国一律へ



# 新救貧法

## 新救貧法（1834年）

### ②劣等処遇の原則

被救済者の生活水準は

最下層の自立労働者より

劣っているものでなければならない



# 新救貧法

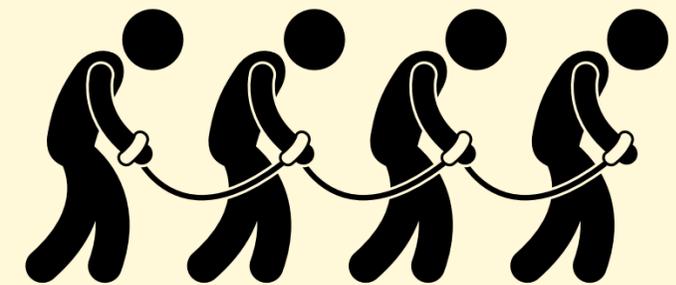
## 新救貧法（1834年）

### ③ ワークハウス・システム

救済は院内救済(ワークハウス)しか認めない

※バステューユと言われるほど劣悪な環境で

救済を抑制させた

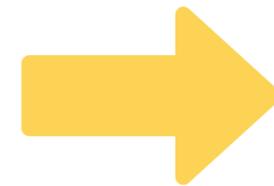


## おわりに

- エリザベス救貧法 非人道的・院内救済
- ギルバート法とスピーナムランド制度  
人道的・院外救済
- 新救貧法 非人道的・院内救済



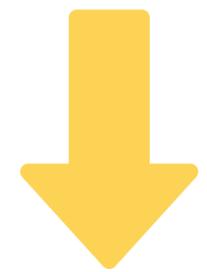
歴史は繰り返す



歴史から学ぶ

おわりに

学校では「イギリスは世界の工場」と習う



実際は？

「イギリスは世界の工場」



<資本家有利の法律>



<多くの貧困者>

<劣悪な労働環境>

おわりに

---

<次回>

慈善組織協会（COS）

セツルメント

ブース・ラウントリーの貧困調査

NEXT 